



2023-2024年度 2023年11月8日(水) **【15回】**  
**WEEKLY NEWS** 通算 2476回



国際ロータリー第2640地区

# 和歌山東南ロータリークラブ【週報】

会長:塩崎和仁 幹事:坂本武司 会報委員長:小林一三

事務局 E-Mail: rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:村アパローム紀の国 第1,第2,18:30~(夜) 第3,第4,第5,12:30~(昼)

## 先週例会報告 会場監督 中岡隆文

ゲスト・ビジターはございません。

### 《 会長挨拶 》 塩崎和仁会長

- ① 本日は,第二回IDM発表です。  
リーダー皆様宜しくお願い致します。
- ② 11月5日(日)JR和歌山駅前花壇の植替え作業に坂本幹事と一緒に参加してきました。
- ③ 国際ロータリー第2640地区2023-2024年度地区大会  
11月11日(土)・12日(日)に坂本幹事と一緒に参加してきます。
- ④ 12月23日(土)クリスマス親睦家族例会があります。  
会員の皆様、家族と一緒に参加をお願いします。



### 《 幹事報告 》 坂本武司幹事

- ① 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。  
ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。  
  - ・2023-2024年度 月信 11月号 P15[クラブ活動報告]に「当クラブ [秋の収穫祭~さつま芋堀~]」が掲載されました。ご一読ください。
  - ・2023-24年度 JR 和歌山駅前花壇の花の植え替え作業 (和歌山市内9RC 共同事業) 分担金 30,000円/1R 領収証 (奉仕会計(ニコニコBOX)社会奉仕より)
- ② 地区大会のお知らせ  
今週末の地区大会 1日目 11月11日(土)、2日目 12日(日)、ステージホテル関西エアポートでの開催です。当日参加も可能です。ご参加できる方はよろしくお願ひいたします。
- ③ 来週の例会は 和歌山中RCとの合同例会です。日時・場所は変更となっております。  
11月17日(金)18:30~、ダイワロイネットホテル和歌山4Fです。  
皆様、お間違えの無いよう 宜しくお願ひ致します。



本日の出席報告					寄付金	ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南育英会
会員総数	39名		出席者	出席率					
出席免除会員	2名	11/8	18名	48.65%	累計	1,000,624	149,000	196,000	0

## 《 ニコニコ箱報告 》 中曾真二郎会計

塩崎君：IDM発表、宜しくお願いします。  
坂本君：IDM 各班リーダーの皆様、よろしくお願い致します。  
溝落様：IDM B班の発表をさせていただきます。  
保田君：IDM C班の発表させていただきます。  
山田君：IDMリーダーの皆様、本日よろしくお願い致します。  
鯨坂君：IDM ありがとうございます。  
中君：例会欠席の反省。  
中曾君：阪神 優勝 バンザイ  
結婚記念日お祝い：保田君、平君。



♪ 11月ご本人・配偶者御誕生日お祝い♪  
♪おめでとうございます。♪



ロータリーソング斉唱 鯨坂ソング副委員長  
「四つのテスト」「結婚記念日の歌」

## IDM発表② ロータリー情報・規定委員会 テーマ「ニコニコ箱への再認識」

A班 委員長 太田豊隆 副委員長 平 平治 発表者 塩崎和仁



日時：2023年11月1日（水）17:00～

場所：2階 例会場前

出席者：神谷会員・山口会員・赤在会員・上野会員・塩崎

第2回のテーマ：「ニコニコ箱への再認識」

上野会員とニコニコ箱について話させていただきました。

1,000円～でも、ニコニコを入れる事から始める。（回数を増やす）

感謝・失敗・欠席・遅刻・早退・その時の気持ちを書いて入れる。

自発的にニコニコを入れる事に意義がある。

以上です。

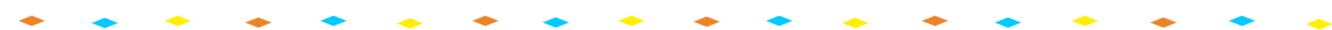
**B班 委員長 溝落和作 副委員長 中曾真二郎**



- ・開催日 令和5年11月2日(木) PM18時30分～
- ・開催場所 アバローム紀の国(六つ葵)
- ・参加者 寺下会員、山田会員、中曾会員、溝落(B班4名)  
外部参加者: 塩崎会長、坂本幹事、事務局渡邊様(合計7名)
- ・ニコニコ箱(スマイルボックス)
- ・語源 1936年大阪RCで実施されたRC特有のもので会員、家族、事業場等の慶び事、お祝い事をニコニコしながら披露し喜びを分かち合い又失敗したり迷惑をかけた時もユーモアたっぷりに苦笑いし例会を賑わせて親睦を増進し集まったお金は主として奉仕活動の資金として使われる。

- ・ニコニコ箱は奉仕活動の原資になりますので原資が少なれば奉仕活動に制限がかかりますので毎月1回¥3000円程度のご寄付を会員皆様をお願いします。
- ・ニコニコ箱の状況は誕生日祝い、結婚記念日祝いとして各¥5000円の寄付が行われています。(寄付額の60%位の返礼品が届きます。)

以上



**C班 委員長 保田 博 副委員長 中岡隆文**



日時: 10月27日(金) 午後6時30分～9時頃まで

場所: うなぎの二与呂

10名中6名 60%の出席率でした。

出席: 松田様、鯨坂様、坂本様、鯨様、中岡様、保田 6名

欠席: 釜中様、中谷様、林様、橋本様 4名

テーマは、「ニコニコ箱への再認識について」

ニコニコにいただいた寄付金は、ロータリー4大奉仕事業活動の資金として使用されている為、会員皆様が良く理解されて寄付されているかが、ちょっと疑問であるように思われます。今一度 新入会員様も多くなってきている為

- 1、その意味を良く理解していただく様、十分な説明が必要ではないか?
- 2、又、どの様に使われているかの説明も必要ではないか?
- 3、前期、後期で寄付金の合計を会員数(出席免除は別)で割って1人半期でどの程度の寄付額になっているか発表するのも良いのでは?

上記の様に IDM で C 班は、話し合いました。

以上



**D班 委員長 辻本圭三 副委員長 竹中昭美**



日時・場所 R5.10.31 午後6時30分、「季節料理こじま」

出席者 竹中会員、吉田会員、土屋会員、谷口会員、奥村真也会員、中会員、辻本(10名中7名)

議題 ニコニコ箱について

- 1 ニコニコ箱は会員がいろいろな出来事を発表する等のためにする献金である。

- 2 その財源の利用は奉仕活動にのみ使うものとされてきた。
- 3 奉仕活動については、青少年奉仕が新たに制定されるまではクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕であり、それを四大奉仕と呼んでいた。
- 4 ニコニコ箱の財源を以前の四大奉仕部門に使用できるかについては議論があり、クラブ奉仕のためには使えないとの見解もあったし、今もそのように思っている方がいるのではないかと思われる。しかし、クラブ奉仕も奉仕活動の一つであることに変わりはなく、クラブ奉仕のため（例えば、会食の費用や会員の親睦のための費用）に使用してはいけないとする理由はないと思料される。この点につき、実は当クラブで先例がある。

1994年7月～1995年6月期は釜中さんが会長、辻本が幹事の時代であるが、その会期が始まる前にクラブを二分するような騒動が起き、年度初めに10名程度の会員が退会するという事態が勃発した。ところが、それにより、会費収入が激減し、当初予算を実行することが不可能になった。そのため、月一回はカレーのメニューにして会食費の出費を切り詰めたものの、到底足りない状態であった。この時、ニコニコ箱はたくさんの献金を得て潤沢であったため、ニコニコ箱より出金しようと考えたが、ニコニコ箱はクラブのために使うことは出来ないとの意見があり、これもかなわないかなと思った。

ところで、当時のガバナーは才門三郎さんであり、当クラブを公式訪問されたとき、会食費をニコニコ箱から出金出来ないかと尋ねたところ、ニコニコ箱は奉仕のために使うもので、クラブ奉仕のために使うことは何ら問題はないとの見解を頂いた。

したがって、奉仕活動であれば、どの部門であってもニコニコ箱から出金することは差し支えない。

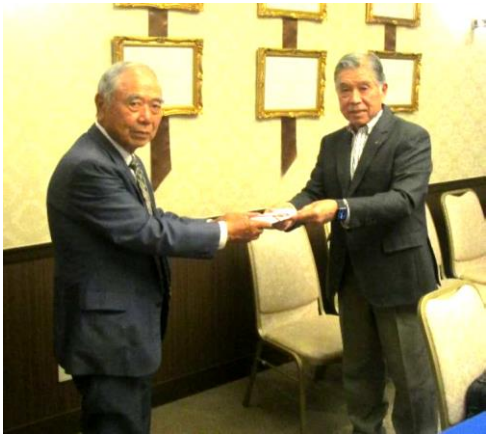


■ 「総評」 ロータリー情報・規定委員長 山田さち子

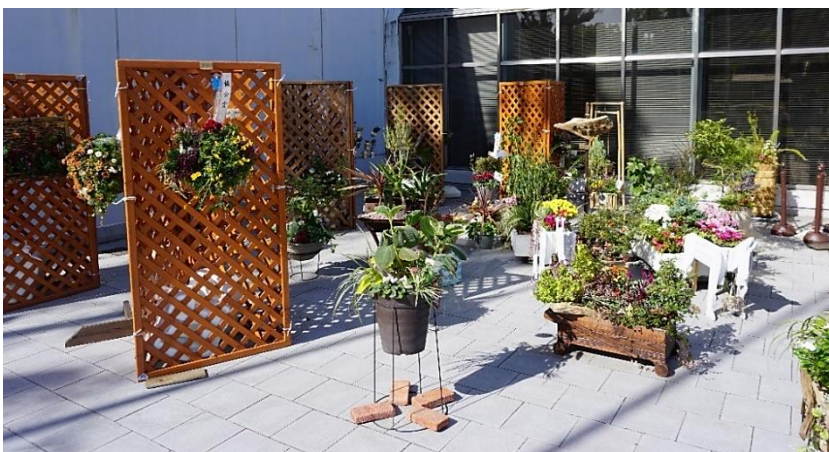
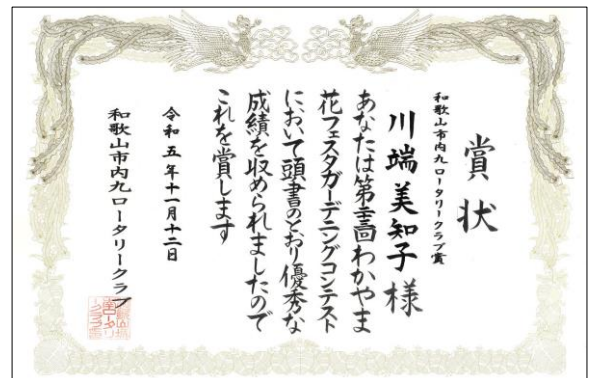
各班のリーダー様貴重なご意見取りまとめありがとうございました  
 今回のテーマは新入会員様への提案でした。本日お見かけした所 新入会員様2名様  
 の出席です  
 リーダー様の貴重なご意見を聞けなかった事は非常に残念に思いました。  
 私の案ですが新入会員様を含め会員皆様が月一度3,000円をニコニコ箱へ寄付  
 金をお願い出来ましたらと私なりの案を出させて頂きました。



「花いっぱい推進協議会へ協賛金贈呈」 2023年11月2日(木) 会長幹事会内



「2023-24年度 第23回和歌山花フェスタ ガーデニングコンテスト  
主催：花いっぱい推進協議会 2023・10/29～11/12 和歌山市役所正面玄関前広場  
後援：和歌山市内9ロータリークラブ





WTV ニュース News

### JR和歌山駅前花壇で花の植え替え 2023-11-06 (月) 18:21

和歌山県の玄関口、和歌山市のJR和歌山駅前の花壇で、昨日、花の植え替え作業が行われました。昨日、和歌山市のJR和歌山駅西口にある花壇で行われた植え替え作業には、和歌山市内の9つのロータリークラブの会員とNPO法人花いっぱい推進協議会のメンバー合わせておよそ40人が参加しました。植え替え作業は、毎年6月と11月に行われていて、昨日は、ロータリークラブから提供された冬から春にかけて美しい花を付けるハボタンやシクラメン、パンジーなど6種類の花1040株を参加者が一つひとつ丁寧に植えていきました。植え替え作業に毎年、参加しているという和歌山市の尾花正啓市長は「花壇は、多くの人に楽しんで頂くとともにおもてなしに繋がります」とまた、花いっぱい推進協議会の森川勝理事長は「花のパワーで人々の心が明るくなり、街の活性化につながれば嬉しい」と話していました。



### 玄関口を花いっばいに 和9RCら植え替え

和歌山市内の9ロータリークラブ（RC）とNPO法人花いっぱい推進協議会は5日、和歌山市のJR和歌山駅前花壇で、花の植え替えを実施。シクラメンとハボタンを中心に6種類約1000株で彩り、駅前には冬の装いとなった。同所は同協議会が毎月1度手入れをしており、植え替えは毎年6月と11月に実施。11月は市内RCと同協議会が合同で行い、ことしで21年目になる。この日は合わせて約40人が参加。花の苗は市内RCが提供し、春先まで楽しめるキンギョソウやパンジー、サクラソウ、ピオラを植えた。

尾花正啓市長も駆け付け、両団体の継続した活動に感謝。「この場所は和歌山最大の駅で、和歌山の顔とも言える。これからも多くの人に花を楽しんでいただきたい」とあいさつした。尾花市長も植え替え作業に加わり、参加者は花が輪をつくるような配置のデザインで約1時間かけて丁寧に植えた。

幹事クラブの和歌山城南RCの東徹会長（57）は「和歌山の玄関口を花でいっぱいにして、市民だけでなく、多くの観光客の皆さんの心を和ませたり、癒やしたりできれば」と笑顔。同協議会の森川勝理事長（84）は「援助を頂き、ありがたい。この場所での花の植え替えや手入れは、とてもやりがいがあり、私たち一番の誇りです」と話していた。

